4「あっと♡ほーむ通信」

◉松島プロパン瓦斯株式会社
八代市袋町1-18 ☎0965-34-3456

間違いを気にしない潔さと率直な思いが魅力！
看板犬『小梅と小豆日和』が人気コーナー

松島プロパン瓦斯（株）では、ガスの検針票がなくならないようにと、手作り新聞に挟んでポスティングしています。専務の松嶋寿美さんは「新聞を作るなら手描きが良い」と思い、出村邦彦さん※の『手書きチラシ作成術』を読んで作り方を勉強しました。出村さんのセミナーにも参加し、『あっと♡ほーむ通信』も順調に発行し始めた頃、出村さんより連絡があり、手書き新聞の見本として出版本に掲載されるまでになったそう。創刊当時からひとりで作り上げている松嶋さんの率直な文章が人気のポイントです。

※…福島県いわき市在住。回転寿司「すし八」代表。手書きチラシ研究家。著書に『儲かる手書きチラシ作成術』、『手書きチラシ実例集』などがある。

何を載せるのか、決まれば筆は速い！

◉作っている人：
松嶋寿美さん（62歳）

目標：発行し続けること。キチンと作ろうと思ったらできません。誤字・脱字も気にしないことが続ける秘訣だと思って継続します！

DATA
- ●創刊年／2005年 ●毎月1回発行 ●発行日／月の初め
- ●発行部数／1,200部
- ●サイズ／A4・モノクロ片面
- ●配布方法／お客様のポストへ検針時にポスティング
- ●制作期間／2時間

現在、新社屋建築中のため仮店舗にて営業中。今年5月末に新社屋完成予定です。

不定期掲載の『簡単おいしいレシピ!!』コーナー。会社で取り扱うガスレンジを上手に使ったレシピもあり。

柴わんこの日常を記した『小梅と小豆日和』。看板犬である柴犬の小梅と小豆を紹介したコーナーは、読者のハートを鷲掴みしています♫

季節の商品を紹介しているコーナー。「玄関乾燥機を紹介した時はとても反響が良かった。イチオシ商品です！」と松嶋さん。

★面白エピソード：ガスに限らずリフォームもやっていることを掲載していたが読んでいない方がいて、それを知った翌月の号にデカデカと思い切り愚痴を書いたら反響が良かったそう（笑）

2021.4月号より▶

活字より手書きに目がいくという松嶋さん。年賀状も手書きです。また、商品をお買い上げのお客さまに出すサンキューレター、スタッフが手書きで作成しているそう。「友人が"私も作れたらいいけど…"と話すけど、まずは一箇所でいいから手書きで始めることが大切だと思います」。

★嬉しかったこと：「いつも見てます」「小梅ちゃん元気？」といった声をかけていただくことが、新聞作りの励みになります！

5「久舷商店たより」

◉久舷商店 八代郡水川町宮原380-1
☎0965-62-9503

夫婦二人三脚で作るお惣菜。
愛情あふれるイラストにほっこり

手羽唐やコロッケなど地元に愛される惣菜を販売する久舷商店。おむけを作る北村久子さんは、今の店舗を構える前の移動販売をしていた頃、どんな人が商品を作っているのかをお客様に知ってほしくて始めたそう。「もう今月号はできた？」とご近所の方に声をかけられたり、遠くは植柳から自転車でおたよりを目当てに来られる方もいらっしゃるとか。また、「まとめてエッセイを出しませんか？」と言われたこともあるほど熱心な読者を擁している、心温まるおたよりです。

北村さんが教える、プロの技が光るちょっとひと手間加えるだけで美味しくなるレシピを掲載。

パソコンが使えないので手書きの方が速いんです

◉作っている人：
北村久子さん（41歳）

目標：もともと飽き性だったので、今までこんなに続けたことはなかった。ずっと続けたい。

日替わりメニューがあるためカレンダーでお知らせ。土曜日の「おさむドキッ！の日」が気になります（笑）

おさむドキッ！の日

ご主人の「おさむちゃん」。おとうのの似顔絵で顔を覚えたというお客さんも少なくないとか!?

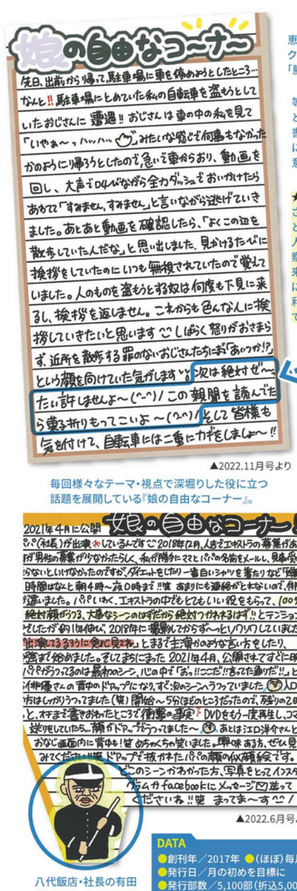
▲2022.11月21日（月）の投稿より

Instagram▶

★こちらも要チェック！：インスタグラムで投稿している連載絵日記『今日のおさむちゃん』。北村さんが描くご主人のおさむちゃんの、ちょっとトボけた日常を綴ったもの。皮肉の効いたコメントにご主人への愛が感じられます♡

★感動エピソード：2021年に思いつきで始めて1年間続けた『今月のぬり絵』コーナー。スタートしてしまったため引くに引けず、「誰もぬりえはしないだろう」と思っていたところ、あるお婆ちゃんが「毎月塗ってるよ」と言ってくれて感動したそう（涙）

◀2021.5月号より
（※色は編集部で塗りました）



毎回様々なテーマ・視点で深堀りした役に立つ話題を展開している『娘の自由なコーナー』。

★反響があった号：映画『ろろいに剣心 最終章』に、お父様がなんとエキストラで出演！ スクリーンに登場した時のお父様の似顔絵を掲載したところ、一番反応が多かったとか◎

▲2022.6月号より

八代飯店・社長の有田義教さん。この似顔絵が似ているかどうかはお店に行って確かめましょう（笑）

抱腹絶倒！の『今月のてきとう占い』。その時に思いつくまま、自由にインスピレーションで書いているそう！

恵利花さん考案のキャラクター、ギョーザくん。「勝手に作りました（笑）」

等身大の想いをしっかりとしたメッセージとして書かれたコラム。世の中に一石を投じる辛口な意見も楽しく読めます。

★面白エピソード：恵利花さんの自転車が盗まれるとした出来事を書いたら、犯人ではなく、記事を読んだ警察の方が菓子折りを持って来られたとか！ おそらく勇敢にも窃盗を未遂に防いだ恵利花さんへのお礼だったのでは…!?

『週刊少年ジャンプ』を毎週欠かさず読むほど少年漫画好きな恵利花さん。4コマ漫画は不定期掲載（気が向いた時）。

★バックナンバーや最新号は、インスタグラムのハイライトから見ることができます。

DATA
- ●創刊年／2017年 ●（ほぼ）毎月1回発行
- ●発行日／月の初めを目標に
- ●発行部数／5,100部（折込5,000、店頭100）
- ●サイズ／A4・カラー両面
- ●配布方法／熊日折り込み、インスタグラム、テイクアウト・出前のお客様に配布
- ●制作期間／2時間×3日

▲Instagram

1「ふくながだより」

◉ブティック&化粧品 ふくなが
八代市鏡町内田113 ☎0965-52-0201

情報満載！ 創業78年の老舗を支える
月イチの嬉しいお便り

資生堂の正規販売店として現在創業78年になるふくなが。店長の娘さんである三島妙子さんは、元々店長が手作りで発行していたお客様へのお便り作りを引継ぎました。そのきっかけは、三島さんが病気をしていた時期があり、その時に何か役に立てることはないかと考え、「店頭には立てないけれどお便り作りならやれる」という思いから作り始めたそう。毎月目標を立て、自分自身を奮い立たせながら作り上げてきたお便りは、アットホームなお店の雰囲気がそのまま伝わる、情報満載なものへと進化を続けています。

DATA
- ●創刊年／1996年（三島さんが関いだのは2008年）
- ●毎月1回発行
- ●発行日／月の初め
- ●発行部数／500部
- ●サイズ／A3・カラー両面
- ●配布方法／お客様へ郵送
- ●制作期間／2～3日

手紙や作文を書いたりするのが好き

◉作っている人：
三島妙子さん（44歳）

目標：新しいお客様にお店のことを知ってもらいたい。顔町のことも取り上げていきたい。

化粧品販売&エステのお店ならではの、季節ごとのお肌やからだのお悩み・トラブルを解決する情報が盛りだくさん。

お店で取り扱う化粧品の情報。使い方やケアの方法も説明し、お店でレッスンすることも。

1月19日にリニューアルオープン！ お客様との会話もお便りのネタのヒントになるとか。

時々、店長（三島さんのお母様）がお便りを書くことも。手書きが上手なのは母親譲りかも◎

3「やつしろはんてんしんぶん」

◉中国料理 八代飯店
八代市麦島西町4-1 ☎0965-34-4174

爆笑!!「てきとう占い」など、"娘"の自由度炸裂新聞

創業42年の中国料理八代飯店のシェフ、有田恵利花さんはこの新聞で"娘"として登場します。来店されたお客様から「この娘さんに会わせてくれ」と言われたことがあるほど、隠れファンの多い"はんてんしんぶん"。表面は恵利花さん、裏面（お店メニュー情報）は社長であるお父様が担当して毎月作っています。当初は表面にもお店情報を掲載していましたが、今では完全に"はんてんの娘"ワールドで埋め尽くされた構成となりました。

反応が増えて、読者のことを考えながらも、やっぱり好きに書いてます（笑）

◉作っている人：
有田恵利花さん（28歳）

目標：今もゆるいけどもっとゆるく～続けていきたい。

2「Siesta Room通信」

◉生活提案型 雑貨SHOP シエスタルーム
八代市本町2丁目4-7 ☎0965-32-8401

可愛い文字とイラスト。おしゃれ雑貨の魅力発信！

創業から2年後に絵の上手なスタッフから引き継ぎ、現在も作り続けている矢本亜紀子さん。それまでは経験もなく、最初は見様見真似で始めたそうですが、繊細なイラストと文字のバランスが見事にマッチした雰囲気のある通信に仕上がり、お客様からも好評です。「通信を作ることで改めて商品知識を学んでいる」と矢本さん。入荷した新商品の情報を丁寧に紹介した、魅力たっぷりなマンスリー通信です。

老眼が進み描くのが辛いなあと思っていると、「いつも楽しみにしています」という声をかけてくださることがあり、「じゃあ頑張って描こう!」という気持ちになります

◉作っている人：
矢本亜紀子さん（54歳）

目標：手抜きの号がないように。コメントも、もっとお客様の心情に寄り添ったものにしたい。

DATA
- ●創刊年／2004年 ●毎月1回発行 ●発行日／月末
- ●発行部数／800部（Siesta Room400部、Lettuce［鶴屋ACT.6店］400部）
- ●サイズ／A4・モノクロ片面
- ●配布方法／買い物されたお客様にお渡し
- ●制作期間／下書き2時間、清書2～3時間

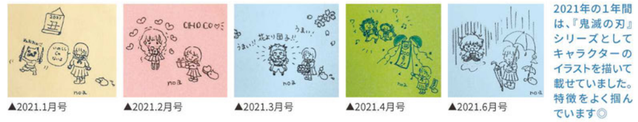
導入部分の毎月のご挨拶。「来月の見通しの立たない半月前に制作するので、やんわりとした内容を心がけています」。

紙面の右半分は季節のイベントにあった商品を紹介。

紙の色は発行時のシーズンやイベントに合わせて選んでいます。

掲載商品のセレクトもすべて矢本さん。商品のイラストも細部まで丁寧に描かれています。もはやアマチュアのレベルを超えています！

硬い素材のものは簡単に描けるけど、布製のバッグや小物など柔らかい素材のイラストは質感を描くのが難しいとのこと。



▲2021.1月号　▲2021.2月号　▲2021.3月号　▲2021.4月号　▲2021.6月号

2021年の1年間は、『鬼滅の刃』シリーズとしてイラストを描いて載せていました。特徴をよく捉えています◎